

道徳通信

令和3年9月15日



「自分のよさを伸ばすために大切なことは何か。」～道徳「カメは自分を知っていた」を通して考えました～

美麻は百人一首を暗記するのが得意です。しかし、百人一首大会の学級代表決めで、同じクラスの里子に負けてしまいました。帰り道、隣のクラスの耕司といっしょになり、里子に負けたことを話すと、里子が小学校の頃からコツコツとがんばって百人一首を暗記していたことを教えられます。そして耕司は、「ウサギとカメ」の話を思い出したと言い、その話になぞらえて、カメは自分を知っていたのではないかと解釈します。美麻は、小学校時代の里子と今日1位になった里子の姿を思い浮かべ、じっと考えるのでした。

授業では、美麻が里子に勝つことができなかった理由、「カメは自分を知っていた」という耕司の言葉に美麻がどんなことを思ったのかについて考え、テーマにせまりました。

●● ●●さん

「やったら終わり」ではなく、それを磨き続けることが大切だと学んだ。

●● ●●くん

亀や里子は、人一倍頑張り続けることができるという強みで闘って勝った。だから、自分の長所で戦うことが大切だと思った。そのために長所をひたすら伸ばす。

●● ●●さん

自分の弱点を知らないと、何かをしたり努力をしようとできないのだなと思いました。

●● ●●さん

自分の弱点を知ったから努力することができた。

●● ●●くん

自分も負けてとても悔しい時があるけど素直に相手を認め自分の弱点を見つけたいと思う。

●● ●●さん

自分自身を知る事な大切さに気づきました。みんながみんな同じことをして同じように伸びるのではないので、自分自身にあったことを探し知ることが大切だと思いました。

●● ●●さん

自分の力を過信しすぎること視野が狭くなることがわかりました。

●● ●●さん

自分の強さを伸ばすには、自分を理解し、長所や弱点を見つけて努力することが大切だと思う。

●● ●●さん

やっぱり自分のことを知ることは大切だと思う。私は自分の得意なことや苦手なことを知っていても、自分のよさを伸ばすことができていないので、そこを考えるようにしたい。



○みんなの振り返りを読んで・・・

自分のよさを伸ばすためには、「自分を見つめることが大切」という意見が多かったですね。では、そもそもなぜ自分のよさを伸ばすのでしょうか？みんなはどう考えますか？授業中にも聞いたけど、自分の短所や弱い部分に目を向けようとしなくなったり、諦めてしまったりすることってあると思います。でも、「そんな自分を変えたい！」という気持ちや、「よりよい自分でありたい！」という気持ちが自分を突き動かすのかもしれないですね。そして、「美麻も里子もこの後どうしていくか？」ということを知ると、「どちらも努力し続ける」と答えてくれました。結果が出て終わりではなく、新たな課題が出てくるので、課題と向き合い続けることも大切なんですね。自分を見つめたことで生まれた新たな気持ちを大切に、自分のよさを伸ばし続けて行ってください。